

秋桜

作詞】さだまさし
作曲】さだまさし

うす紅の秋桜が秋の日の
何気な陽溜まりに揺れている
此頃涙もろくなり
庭先でひとも咳をする母が
縁側のアヒルバツムを開いては
私のも幼い日の思い出を
何度か同じ話をいりかえす
ひと言春みじかにくさり
こなんやさの穏やかな声で
あんなに私にやさしく
明日嫁にさしめよう
笑い話に変わって
心配いらないと
心配いらないと

あつれこの日も思ひ出を
いかながら我儘で
今更かなで
唇日へかの荷造り
明日は荷造り
しばらくは楽し
突然は涙こぼし
何度もくさり
あきりがとうの葉を
生きたまうの葉を
こなきの春あんなに
も少しいさあせ
子供でいさあせ
子供でいさあせ

秋桜

作詞】さだまさし
作曲】さだまさし

うす紅の秋桜が秋の日の

□■ 何気ない陽溜まりに揺れている

此頃 涙もろくなった母が

庭先でひとつ咳をする

縁側でアルバムを開いては

私の幼い日の思い出を

何度も 同じ話くりかえす

ひとり言みたいになさな声で

こんな小春日和の穏やかな日は

あなたのやさしさが しみてくる

明日嫁ぐ私に 苦労はしても

笑い話に時が変えるよ

心配いらないと笑った

秋桜

作詞】さだまさし
作曲】さだまさし

2 / 2

■ ■
あれこれと思い出を たどったら
いつの日もひとりでは なかったと
今更ながら我儘な私に
唇 かんんでいます

明日への荷造りに手を借りて
しばらくは楽し気に いたけれど
突然 涙こぼし元気だと

何度も何度もくりかえす母

ありがとうの言葉をかみしめながら
生きてみます私なりに

こんな小春日和の穏やかな日は
もう少し あなたの

子供で いさせてください

End